

## 2月定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

2月も終わりに近づいてまいりましたが、まだまだ寒さの厳しい日が続いております。皆さまにおかれましては、体調管理に十分ご留意いただきながらお過ごしいただければと思います。

さて、毎年、春の訪れを感じさせてくれる市役所敷地内にございます河津桜ですが、今年は1月28日に開花を確認をいたしました。

昨年より1週間ほど早い開花となり、厳しい寒さの中でも色づきを進め、現在では複数の木で鮮やかなピンク色の花を咲かせております。

例年、2月下旬から3月にかけて見ごろを迎え、長い期間その美しい花を楽しむことができますので、お近くにお越しの際は、足を運んでいただき、春の彩りをお楽しみいただければと思います。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「令和8年第1回取手市議会定例会議案」についてです。

会期は、2月27日 金曜日からの予定となります。

定例会に提出する議案は、条例の一部改正が9件、令和7年度補正予算が5件、令和8年度当初予算が7件のほか、同意案が2件の計23件を提案いたします。

まず、条例の一部改正は、「取手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」など9件を提案いたします。

次に、令和7年度取手市一般会計補正予算第9号についてご説明いたします。

一般会計補正予算の総額は、6億4,689万1千円の減額で、補正後の予算総額は、541億6,834万6千円となります。

歳出予算の主な補正内容の一つ目は、国の令和7年度補助事業により前倒しして実施する事業で、令和8年度に計画していた土地改良事業や地籍調査事業の一部が、国の令和7年度の補助事業の対象となったことから、3月補正予算に計上し、令和8年度に繰り越して実施するものです。

二つ目は、令和7年度実施事業のうち、今年度中の実績を見込み、不用が見込まれる金額を減額するものになります。

歳入予算の主な補正内容として、市税と地方交付税がございいます。

市税については、令和7年度課税実績から、個人市民税

所得割を増額する一方、法人市民税法人税割を減額し、市税合計で、1億981万6千円を減額いたします。

地方交付税については、普通交付税は国の補正予算により再算定が行われたため増額、特別交付税については令和6年12月の常総環境センターの火災により、市が追加的に負担した経費について措置されるため増額し、地方交付税合計で、7億2,834万4千円を増額いたします。

次に、令和8年度当初予算案についてご説明いたします。

一般会計の当初予算額は、499億1,000万円となり、前年度の当初予算と比較して5億3,000万円の減となります。

減となった主な要因は、令和7年度に実施した小中学校の体育館や武道場の空調設備設置工事などの事業の減と、高齢化などに伴う社会保障関係経費の増など、複数の増減要因の差引によるものとなっております。

次に、特別会計の当初予算額は、取手駅西口都市整備事業、国民健康保険事業など6つの特別会計の合計で、

295億3,046万円となります。前年度当初予算との比較では23億1,492万円の増額となります。

一般会計と特別会計を合わせた当初予算総額としては、令和4年度から5年連続で過去最大規模を更新すること

となりました。

令和8年第1回取手市議会定例会議案の説明は、以上となります。

次に、「令和7年度取手市長賞美術分野の受賞作品が決定」についてです。

市では、東京藝術大学との交流事業の一環として、東京藝術大学卒業・修了作品展の優秀作品の中から毎年2点に取手市長賞を授与しています。

この度、令和7年度の受賞作品を決定いたしました。

一点目は、<sup>かわむらてるの</sup>川村照乃さんの<sup>ゆが</sup>油画作品「<sup>さろ</sup>叉路」、二点目は、<sup>たかはらあやか</sup>高原彩夏さんの工芸作品「野に咲く」でございます。

取手市長賞作品は、5月1日金曜日から12日火曜日まで、アトレとりで4階 とりでアートギャラリーにて公開いたします。

いずれも素晴らしい作品でありますので、是非、多くの方に鑑賞していただきたいと思えます。

なお、音楽分野の受賞者につきましては、3月上旬に決定する予定です。こちらもあり次第、「広報とりで」や市ホームページなどでお知らせをいたします。

次に、「『こども版広報とりで』発行」についてです。

「こども版広報とりで」は、普段、市報「広報とりで」を読む習慣が少ないこどもたちを対象に、地元への興味関心を持ってもらうきっかけとして発行をいたします。

今回は、自ら応募してくれた市内小中学生の皆さんが「こども特派員」として、工場やアートイベントの現場体験取材を行い、市の魅力を発見していく様子などを掲載しております。

発行は、2月26日木曜日で、市内小中学生には配布されているタブレットにデジタル配信を行います。

また、紙媒体として1万部発行し、市内の公共施設や郵便局、駅、病院、スーパー、コンビニエンスストアに配置いたします。

今回の「こども版広報とりで」を通じて、こどもたちが情報収集とその分析の重要性の意識を高め、地元への愛着を深めてもらえることを期待しています。

以上で、私からの説明を終わります。